

UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内
電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776

第 22 号

平成11年(1999年)10月

ともに考え、ともに行動

二十一世紀の平和な世界は、われわれの手で

宇治市国際親善協会副会長
宇治商工会議所会頭

中 川 恵 次



宇治市国際親善協会の皆様方には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度引き続きまして平成十一年・十二年度の宇治市国際親善協会副会長に就任をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。宇治市国際親善協会は、宇治市が友好都市交流を通して国際社会に向けた基盤づくりを進めるため、昭和六十一年にスリランカ国ヌワラエリヤ市ならびに中国咸陽市と友好都市盟約を締結したのを機に、市民の国際感覚を深めるとともに市民レベルの親善交流を推進するため、昭和六十二年(一九八七年)に設立されました。

平成二年(一九九〇年)には、カナダ国・ブリティッシュ

コロンビア州カムループス市と三つ目の友好都市盟約が締結され、宇治市との連携により、経済、教育、文化、スポーツなど幅広い分野で市民間交流が続けられています。

本協会では、これらの友好都市との交流事業を中心として、二十一世紀に向けて地域の国際化を進める人づくり、街づくりを進めるためさまざまな取り組みを行っています。

さて、私が会頭を仰せつかっております宇治商工会議所では、国際感覚を持った会員の育成を通じ、人類恒久の願いであります世界平和の維持・発展に貢献することはもとより、特に産業・経済の交流を積極的にはかることを目的として、過去に宇治市の公式訪問団への会員の派遣や商工会議所独自の訪問団の派遣などで友好三都市との友好交流を重ねてまいっております。

とりわけ、カムループス市のカムループス商工会議所とは、宇治市が友好盟約都市を締結した翌年の平成三年(一

九九一年)七月一日に「友好協力盟約」を締結いたしましたし、強い絆で結ばれています。

このカムループス商工会議所との友好協力盟約を契機にして、友好都市との距離が更に近くなった感があり、文字通り国際感覚を持った会員の醸成に大きく貢献していますし、さまざまな国際協力事業にも取り組んでいます。

* * * 友好協力盟約書 抜粋 * * *

宇治商工会議所とカムループス商工会議所は、親密なる友好関係と良好なる通商関係にあることの認識に基づき、双方の国民と会員の利益のために産業的及び教育的・文化的事業における相互の友好協力関係を更に発展させることをここに盟約する。

併せて、本盟約を具体的に推進するため、下記の通り声明する。

- ①産業と市場に関する情報を交換し、これを双方の会員に提供する。
- ②双方の会員による産業的

及び教育的・文化的交流を促進し、交換する。
③見本市や展示会における双方の会員の製品やサービスの販売促進について相互に支援する。

④両国間、特に双方の会員間における産業上の投資を拡大・促進するため、必要な施策について双方のそれぞれの関係当局に對し提言する。

⑤本盟約の目的を達成するためのその他の活動についてもこれを主導する。

* * * * *
今、世界の平和は、すべての人類にとって大きな願いであり、その維持に最大の努力が払われています。そして、多くの市民の交流によって友愛と信頼が育まれ、来るべき二十一世紀に向けて、一層、共存・共栄の世界が大きく広がり、続くことを願わずにはいられません。

この国際交流の所期の目的達成には、市民一人ひとりが世界のあらゆる出来事に関心を持ち、国際理解・協力についてともに考え、ともに行動する必要があるのではないでしょう。

そのためにはひとりでも多くの市民の皆さん方が本協会に結集いただき、大きな輪とさせていただきます。

私の名前はアーブ ロリンと言いまし
てシニヤーのスローピッチソフトボール
チームのメンバーでプレイをしております。
リーグはカムループス中心に半径 250
キロメートルの地域に 10 チーム有りまし
て、年間 30 試合いたします。チームは混成チームで何時
でも 2 人の女性がチームでプレイをしなければいけない事
に成っております。加えて男性だけのチームも有りまして、
55 歳以上、60 歳以上、65 歳以上のカテゴリーでこれはトー
ナメントの試合をいたします。私は 65 歳以上のチームの
マネージャーであります。男性チームは 8 月の宇治市との
交流試合を大変楽しみにしております。皆様の 8 月の訪
問を楽しみにしておまち申上げております。カナダへの旅を皆
様が満喫されるようお祈り致しております。



Urb Rolin

今年の交流試合の結果は、カムループス市 14 対 11 宇治
市、日系人会 3 対 3 宇治市でした。(一勝一分)



今日は！

私の名前はビル ホロメイと言いまし 1970
年来カムループスに住んでおります。

私はバンクーバーで生れ、1969 年に学
校を卒業すると同時にカムループスに移っ
てきました。1979 年来カムループス市の消防士として本
日まで 20 年のキャリアを続けております。

私の一番好きな時間はサッカーをすることです。サッカー
は六歳以来ずっと続けております。

私の家族ですが、父母、3 人の姉妹、2 人の兄弟が有り
ます。妻の名前はドナと言います。私共夫婦は旅行やモト
ターサイクルスポーツが趣味です。友達や家族を招いて楽
しい時を過ごすのが大好きで宇治からテニスやサッカーの
チームが来たときもホームステイのホストを致しました。
それはそれは楽しい一時で末長くお付き合いするであろう友
人もできました。

私は 1994 年 9 月 カムループスオールドタイマーズサッ
カークラブの一員として宇治を訪問させて戴きました。宇
治市の人々は全員優しくホストの家族とは以来友人付合い
をしております。1999 年か 2000 年に又サッカーチームの
訪問が計画されているそうですのでその時は参加する予定
です。

又の日を楽しみにしておりますと共に皆様の御健康と御
多幸をお祈りしております。 BILL HOLOMAY

サッカーチームが宇治を訪問されるのは、2000 年 5 月の
予定です。

From Kamloops

宇治市の友好都市
であるカムループス
からお手紙が届きま
した。全員宇治市と
何らかの形で関係が
あり、宇治市にたい
へん親しみを持って
くださっています。
彼らのカナダでの
生活が伝わってくる
ような気がします。

私共一家は 4 名でピーター、バレリー、
ケイシー、ブリーナから成っております。

ピーターは 1963 年以来カムループ
スに住み、バレリーはカムループス
に生れ育っています。

ピーターは鋳業関係のスチール製品
を製作する会社の販売部門に働き、バ
レリーは市役所のアクアティクセンタ
ーに勤務しています。ケイシーはブロ
ックセカンダリーの 8 年生で 13 歳の女
子学生でスポーツが大好きです。ブリー
ナは 8 歳の小学校 3 年生でパーククレ
スト小学校に通っております。

昨年夏、宇治から 2 人の中学生をホ
ムステイ致す機会がありました。とて
も楽しく過ごしましてノリとアミと共
に沢山の忘れられない思い出を作りま
した。



宇治の皆様、何時の日にかカムル
ープスを御訪問ください。私共も折ある
毎に皆様の国が素晴らしい所と伺い、
宇治を何時の日にか訪れる事を夢見て
おります。

Peter, Valerie, Casie & Breanna
Lahucik

ノリさんとアミさんもととても楽しい
思い出になったそうです。

世界の文化交流会

― 宇治国際交流クラブ ―

平成十一年六月二十七日、

宇治国際交流クラブの恒例行事である「世界の文化交流会」を開催いたしました。

まずは、当日のプログラムを通じてその模様を紹介させていただきます。

おにぎりパーティ

参加者全員が作りながら食べながらの懇談タイムです。

日本文化の紹介

①茶香服(ちやかぶき)

②お抹茶コーナー

協力出演

①スリランカティー

パフォーマンス

①和太鼓

②マジックショー

③英語落語

④ソシアルダンス

⑤バグパイプ

⑥本場沖縄民謡

展示コーナー

①友好都市の紹介

②シルクロード写真展

沢山の取り組みでどれを中心に紹介するか迷うばかりですが、とにかく楽しい一時を

過ごすことが出来ました。

当日の参加者は、外国の方々三十二人を含めて百人程度、参加者は珍しい「お茶の里」宇治の伝統文化である茶香服に強い関心があり、日本茶の味を楽しまれた(?)ようです。中には、二回目でもパーフェクトを記録、もう日本茶の味はマスター出来たと豪語するゲストも見られました。このコーナーは、例年上林ご夫妻のご指導、ご支援で行っており、我々クラブの自慢メニュー

となっております。

次は、故桂枝雀師匠のお弟子さんであるジョン・ブラウンさんの英語落語。演題は、「ホワイト ライオン」。話の内容は半分程度しか理解出来ませんでしたが、枝雀師匠そのままの豊かなスチャームは迫力十分、聴衆はその魅力に引き込まれる状況でした。当日、パフォーマンス等でご協力戴いた皆様に心より御礼申し上げます。

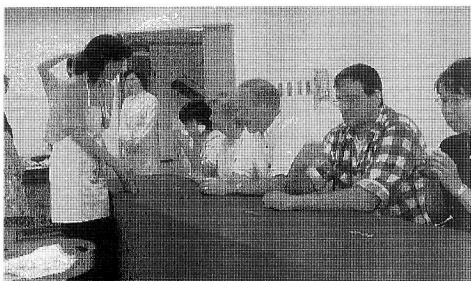


▼ 参加者全員が作ったおにぎりパーティ

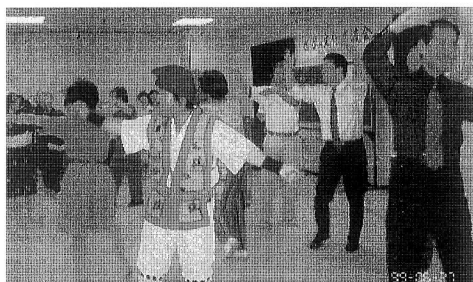


色・香り 味を確かめ 札を入れ

宇治の新茶で 茶香服や楽し



みんなで踊った沖縄民謡カチャーシー ▼



伝統の

スコットランド 身にとまとい
バグパイプの音 高らかに鳴る



宇治国際交流クラブは宇治市に在住されている外国の方々に対する「日本語講座」、友好都市からの訪問者に対する通訳宇治市国際親善協会主催の「語学講座」のサポート、そのほか「文化交流会」「世界料理教室」等も企画しております。誰でも参加出来ますので、気軽にご入会ください。

連絡先 今川 博

☎二三・〇三七二

「きょうと探訪留学生ツアー」開催！

外国人のホームステイのホストファミリーになりたいけれど、機会がない……そんな方に朗報です。

「きょうと探訪留学生ツアー（留学生交流ホームステイ事業）」は、京都府及び京都府国際センターが主催して毎年行っているもので、京都府内の大

とでもうれしく、ちよっぴりさみしいお知らせです。

来る十月二十二日から二十八日まで、友好都市・カムループス市からクリフ・ブランチ

フラワー市長公式訪問団一行が宇治市を訪問されます。ブランチフラワー市長は今回で

三回目の宇治市訪問となりますが、この秋で市長職を勇退されることになっています。

カムループス市では、この訪問を「ブランチフラワー市長のさようなら訪問」と位置付けています。

そこで、協会でも「さようなら訪問」を歓迎するとともに、市長の長年のご功績を称え、今後の一層のご活躍を願うために、歓迎交流会を開催

させていただきます。

学・大学院等で学ぶ留学生に、地域の伝統行事や産業を紹介し、京都府の理解を深めるとともに、ホームステイ等を通じて府民や青少年との相互理解を図ることを目的としています。毎年、各市町村で開催されていますが、今年は宇治市で開催されることになって

することにしました。ブランチフラワー市長とカムループス市公式訪問団を歓迎したい方はどなたでもどんどんご参加ください。

日時・場所等は以下のとおりです。

日時 平成十一年十月二十三日（土）

開宴 十八時

受付 十七時

場所 京都醍醐プラザホテル二階宴会場

会費 五、〇〇〇円

います。この事業の一環として、留学生を受け入れてくださる宇治市在住のホストファミリーを募集します。

外国人を受け入れるという素晴らしい構えてしまい、大変なことに思いがちですが、一番大切なのは国境にとらわれない人と人の心のつながりだと思います。話す言葉や生活習慣が違ってても、うれしかったり楽しいと感じる心はみんな同じです。また、この事業で受け入れる留学生は、京都府内で勉強をされているので、多少は日本語を理解できると思われます。

実施予定は以下のとおりです。市政だより（十月十一日発行）にも掲載されますのでご覧ください。

語学講座受講者受付中

中国語（初級：定員二〇名）
英語（初級：定員二十五名）
の二コースを実施します。

中国語、英語の語学力を身につけていただく以外に、講師と受講者の交流を図ることができる非常に楽しい場にもなっています。

期間は、平成十一年十月二

期間、平成十一年十月二

受入れ留学生

市内在住の大学生およびその家族 四〇名

受入れホスト数

二〇家庭（各家庭二名ずつ受入れ）

受入れ日

十一月二十七日（土）
十一月二十八日（日）

受入れ内容

午後三時頃体面式の後、各ホストファミリー宅へ

申込先

午後、お別れ交流会など

申込先

宇治市国際親善協会事務局
（☎二・三二四一 内線二〇五八）

申込先

〇日（水）から平成十二年二月二十三日（水）まで、合計十六回実施します。会費は、会員の皆様は八千円です。

参加ご希望の方は、平成十一年十月十三日までに当協会事務局（☎〇七七四・二二・三二四一 内線二〇五八）までご連絡ください。多数の参加をお待ちしています。

〇日（水）から平成十二年二月二十三日（水）まで、合計十六回実施します。会費は、会員の皆様は八千円です。

参加ご希望の方は、平成十一年十月十三日までに当協会事務局（☎〇七七四・二二・三二四一 内線二〇五八）までご連絡ください。多数の参加をお待ちしています。

〇日（水）から平成十二年二月二十三日（水）まで、合計十六回実施します。会費は、会員の皆様は八千円です。

参加ご希望の方は、平成十一年十月十三日までに当協会事務局（☎〇七七四・二二・三二四一 内線二〇五八）までご連絡ください。多数の参加をお待ちしています。



▼十年ぶりに国際交流の仕事をする事になった。この間に友好都市との市民交流が活発に進んでいることを実感した。

▼特に、中学生のカナダ・カムループス市への訪問は、すばらしい体験の場であり、それぞれの進路や人生に夢と希望を抱かせるものである。帰国後の報告を聞くにつけ、彼らが今後の市民交流の中核を担ってくれることを確信する。

▼その後、体育協会のソフトボールチームが同じくカムループス市を訪問された。聞けば涙するような温かい交流の場があったようである。▼また、「咸陽の子どもたちに本を贈る会」は、市民の募金による本を直接贈るなど実質的な交流を進めておられ、学校建設も実現すると聞く。▼こうした市民交流を見るにつけ、平和とはすばらしいと思う。十三年前にスリランカ・ヌワラエリヤ市を訪問した者の一人として、あの時の子供たちの生き生きとした澄んだ瞳を、もう一度見たいものである。